

スポーツとコミュニケーションの場

福井市障害者スポーツ教室

- 日 時:原則毎月第2日曜日に開催
13時30分~15時30分
- 場 所:福井市ちもり体育館
(旧至民中学校体育館)
- 対象者:福井市に住んでいる、または勤めている障害のある方
(付き添い可)
- 内 容:毎回2種類のニュースポーツなどを参加者みんなで行う
例)フライングディスク、卓球バレー、カローリングなど



足羽学園では、1年を通してさまざまな社会参加活動を行っています。少人数のグループで、公園や福井市子ども歴史文化館などの公共の施設に出かけています。その中の一つに、障害者スポーツ教室への参加があります。

障害者スポーツ教室とはどのようなものなのでしょうか。また、利用者の方は参加してどのように感じていそうですか。今回はその様子をご紹介します。

される利用者の方は、心中に不安な気持ちを抱えての参加となりました。

ちもり体育館に着くと、揃いのTシャツを着た専任のスタッフの方々が「こんにちは」と笑顔で出迎えてください

ボーッって一体どんなことをするのだろう?知らない人がたくさん来るのかな?参加

た。たくさん来るのかな?参加

しかし、どの利用者の方も、職員のちょっとした声かけや付き添いでニュースポーツを楽しんでおり、次第に笑顔になっていました。

回数を重ねて…

毎月参加していることで、スタッフの方に名前を覚えてもらえ「○○さん、元気やつた?」「今日はこんなことするよ」と声をかけていただけるようになりました。利用者の方も不安な気持ちよりも、楽しみな気持ちの方が大きくなってきたいるようです。

しかし、どのように行うのか、1回の説明では理解が難しかった。それでもスタッフの方が横に付き添つて丁寧に説明してくださいるので、利用者の方も安心して参加されています。そして参加する度に、充実した表情をして学園に帰つて来られるのがとても印象的です。

ドキドキの初参加

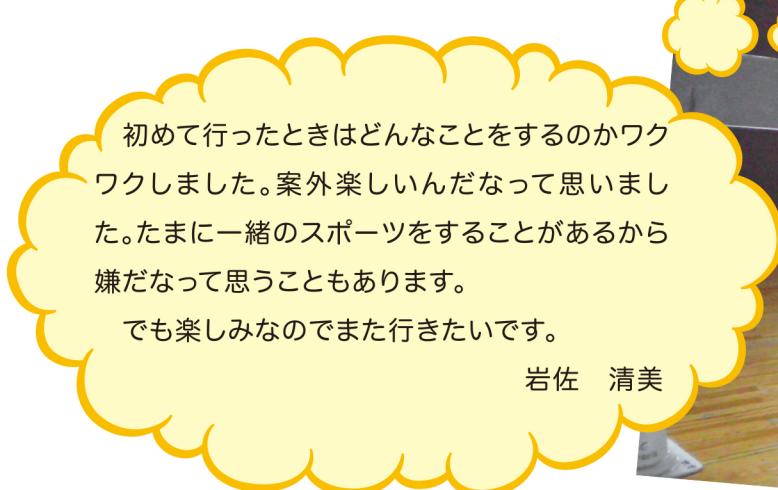


毎回行う、全体での顔合わせです。



卓球バレーをしました。楽しかったです。また行きたいです。

谷口 友也



岩佐 清美



最初はどんなことをやるのかなど思っていました。でも何回もスポーツ教室に行くうちに、どんどん慣れてきました。それに、そんなに大変なスポーツではないので安心です。

松本 樹稀

利用者の方の「運動がしたい」「体育館で思いきり体を動かしたい」との思いをどうしたら叶えられるか、と思っていたところ、福井市の市政だよりを見ました。担当課に問い合わせをしたところ、親切に競技内容を説明してくださいました。

会場ではいろいろな人とかかわりをもち「上手になつたね」など言われ、休憩時間も惜しんでスポーツに取り組んでいます。

毎月、利用者の方が翌月の活動を待っている様子を見ていると、参加できてよかつたという気持ちでいっぱいです。どの利用者の方も足羽学園以外の人とのコミュニケーションがとれ、いきいきされています。

足羽学園 主任 瀧波克代